

共産党議員団

おお かわ なお ゆき
大河 直幸 議員



公共交通充実のため予約乗り合い方式のデマンドタクシーを

答弁 デマンド型などタクシーの効果的な使い方は検討の対象になる

問 市長は本市の公共交通をどのように考えているのか。

答【市長】 市内には14の駅があり、多くの路線がある。公共交通に恵まれた一面、社会のニーズ、公共交通に関するニーズそのものも大きく変化してきている。

問 病院や買い物など、市域内を不便なく移動できる市民の移動手段、公共交通の確保が必要ではないか。

答【都市整備部長】 鉄道やバスを中心とした公共交通は大量輸送を担うもので、輸送量の少ない全ての移動をカバーすることは困難であるため、新たな移動ニーズの対応は既存公共交通との整合を図りながら、しっかり検討していく必要がある。

共産党議員団

やま さき きょう いち
山崎 恭一 議員



市長公約「駅前周辺整備を進める」、具体的内容は

答弁 まちのにぎわいと人々の交流を促進したい

問 市長は、選挙公約で、「駅前周辺整備」をあげているが、その具体的内容はどのようなものか。

答【市長】 バランスの取れたまちづくりを進め、まちのにぎわいと人々の交流を促進したい。

問 J R六地蔵駅前、分散するバス停の集約など交通の結節点としての機能整備が必要では。

答【副市長】 最終形としては路線バスの導入を図る計画だが、事業期間が長期にわたるため、今回のJ R高速化・複線化事業では最小限の整備を行う方向だ。

問 J R黄檗駅のバリアフリー化が遅れている原因は。

答【都市整備部長】 国の補助金獲得が難航して遅れて

問 地域内の公共交通を充実させるためには、予約乗り合い方式のデマンドタクシーが大きな力を発揮する。

答【同部長】 移動手段の一つの形態として、デマンド型などのタクシーの効果的な使い方も検討対象となると考えている。

高齢者への検査、福祉施設での社会的検査を制度化すべき

答弁 PCR検査を含め、新型コロナウイルス感染防止に必要な対応を検討していく

問 福祉施設の職員の方には定期的にPCR検査を実施することを求める。また、高齢者への検査、福祉施設などで積極的な社会的検査ができるように制度化をすべきだ。

答【健康長寿部長】 市町村が高齢者や基礎疾患を有する者に検査事業を実施した場合に、検査費用の一部を助成する通知が厚生労働省よりあったことは把握している。現時点で、この仕組みによる検査事業を実施する方向性は持ち合わせていない。今後も、PCR検査を含め、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止に必要な対応は検討していきたい。

いる。市としても、国に対して財源確保を要望し、早期実施に向けて調整していきたい。

聴覚障害者は、他の障害と比べてやや軽く見られているのではないか

答弁 障害への理解啓発に努めたい

問 本市の聴覚障害者の障害者手帳取得者は837人だが、要介護認定者1万人の半数は何らかの聞こえの障害があるのではないかと推定する。聴覚障害者は見た目では分かりにくく、他の障害と比べてやや軽く見られているのではないか。聴覚障害だと端で見ていただけでは分からないため、人間関係のトラブルになることも多く深刻な問題だ。介護保険課と障害福祉課が連携して、実態把握と体系的な対策を進めるべきでは。

答【福祉子ども部長】 加齢等により難聴となった人への手帳取得の勧奨や補聴器の補助制度など制度の周知や聴覚障害への理解啓発に努めたい。

問 補聴器の電池交換への助成、要約筆記者養成への援助、ヒアリンググループの整備などを進め、聞こえの問題での先進的な自治体となることを要望する。

一般質問

日本維新・京都宇治党

かな が さき ひで あき
金ヶ崎 秀明 議員



スピード感を持って行政運営を

答弁 前例にとらわれず取り組む

問 コロナによって、これまでの自治体の考え方や価値観は大きく変化した。これからの行政運営にはスピード感が大事な要素だと考えるが、市長の考えは。

答【市長】 コロナ対策をはじめ、さまざまな施策の推進には、刻々と状況が変化する中で、課題や市民ニーズを的確に把握し、時期を逸することなく取り組むことが大変重要だ。前例にとらわれず、部局を超えた積極的な意見交換とともに、議会や市民、関係団体等の意見を聞きながら、スピード感を持って取り組む。

問 コロナ感染者が増大する中、今後の水際対策は。

答【市長】 本市単独でできる対策には限界があり、広

域的な取組が有効だ。今後も引き続き、感染・経済状況などを注視し、国や府、関係団体などと十分連携を図り、市民の安全・安心を守るために、私のこれまでの経験を生かし、取るべき対策に鋭意努めていく。

アフターコロナ時代の観光戦略は

答弁 近隣から、続いて国内をターゲットに行う

問 今まで本市の観光計画はインバウンドに依存してきた。アフターコロナ時代には、ターゲットを国内客に変更して誘致戦略をもう一度作り直すべきだと考えるが、今後の本市の観光戦略は。

答【産業地域振興部長】 昨年9月開催の観光振興計画後期アクションプラン計画推進委員会で、新しい生活様式に対応した観光を進めるとともに、まずは近隣から、続いて国内をターゲットに誘客を行っていくべきとの意見があり、塔の島周辺のライトアップや亀岡市、舞鶴市と連携したデジタルスタンプラリーなど、近隣をターゲットとした取組を行っている。

共産党議員団

みや もと しげ お
宮本 繁夫 議員



小学校で3から5学級、中学校で6から10学級が、なぜ適正規模か

答弁 単学級よりクラス替えがあったほうがよい

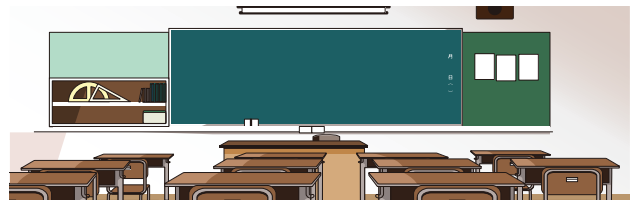
問 文部科学省は2021年度から学年更新で35人学級を実施することを決めた。文部科学大臣は中学生を対象にした第2ステージに向けた準備をしたいと言っている。ところが、本市では2007年に策定したNEXUSプランに固執し、学校統廃合を目指している。しかも、小学校では学年3から5学級、中学校では学年6から10学級が望ましく、それぞれ31学級以上にならない範囲が適正規模だとしている。その根拠は。

答【教育部長】 一人一人の児童・生徒に行き届いた教育を行うためには、単学級ではなくクラス替えがあっ

たほうがよいことなどを踏まえ、適正規模は小・中学校とも18学級を適正規模の基準としつつ、かつ31学級以上の過大規模とならない規模とした。

問 21世紀になったばかりの時期、40人学級の下で学校規模のあり方を議論してきたが、それから20年近くたつ。小中一貫校は、それぞれに校長がおり、それぞれの学校なので、同じ敷地の中に60学級があっても適正規模だと市教委は言っている。そんなところは日本中にない。今の時代に合った新しい教育の課題に見合うように、NEXUSプランを見直すべきだ。

答【教育部長】 少子高齢化、人口減少が続く中、地域によっては、単学級が増加すると推測されており、子どもたちの教育環境をよりよいものにしていくために、引き続き学校規模の適正化の議論を行う必要がある。また、今後は国の動向も見極めながら、将来の学校のあり方につき議論を重ねていきたい。



一般質問

共産党議員団

とく なが み き
徳永 未来 議員



中学校給食早期実現のためセンター方式から親子方式へ

答弁 方式変更は考えていない

問 中学校給食実施を決めてから4年がたつ。遅れている最大の理由はセンター方式に決めたことだ。親子方式へ方向転換する考えは。

答 【教育部長】 学校運営や教育環境への影響を考慮し、センター方式で実施することとした。用地確保に向け現在努めており、方式変更は考えていない。

問 市内での用地確保が簡単でないことは以前から分かっていることだ。センター方式に固執するやり方は、子どもたちに一日も早く給食を届けようという思いが感じられない。現在も小学校の給食室を活用して小学校間で給食の配送を行っている。今ある施設を運用し

て、中学校給食をすることができるのではないかと。

答 【同部長】 小学校給食施設を活用した親子方式による中学校給食は、調理能力だけで見ると、一部の学校でしか実施することができない。

問 9年間で児童が289名増えた木幡小学校で、食数を増やす努力を市はしてきた。各学校でも食数を増やすことはできるのではないかと。

答 【同部長】 児童数増加などに対応すべく、給食室の釜の容量見直しなどの調整を可能な限り行ってきたが、親子方式で実施するには、小学校給食室の建て替えを含めた大規模な改修が必要と考えている。

問 小学校給食室に問題があると言っても、今も小学校では調理員の努力によりきちんと衛生管理されている。子どもたちの成長に欠かすことのできない食の課題の解消にも、早急に方向転換し、中学校給食を実施すべきだ。



議会の動画 配信

宇治市議会では、本会議や常任委員会等をインターネット動画で配信しております。生中継や録画配信は、市議会ホームページの「議会中継」をご覧ください。



ホームページからの閲覧方法

市議会ホームページからは以下のアクセス方法で議会中継をご覧いただけます。



- ① 宇治市議会トップページ
- ② 左側のパナー 上から二つ目「議会中継」をクリック

新型コロナウイルス対策に取り組んでいます

新型コロナウイルス感染拡大防止や傍聴をされる方の健康を守る観点から、緊急事態宣言発令中は議会の傍聴の自粛の協力をお願いし、主に次の通りの取組を実施しました。

- 主な取組**
- ライブ中継を活用し、当日傍聴に来られた方には、別室で中継をスクリーンに映して視聴できるようにしました。
 - 本会議、委員会中は扉を開放し、常時換気を実施しました。
 - 飛沫感染防止のため、本会議場の質問者席等にアクリル板を設置しました。



今後も引き続き、感染症対策に取り組んでいきます。なお、議会の傍聴に関しては20ページの「傍聴に関するご協力をお願い」をご覧ください。

議事内容(抜粋)

承認

令和2年度 一般会計補正予算(第10号) の専決処分

コロナ
対策
関連

補正額は1億600万円の増額で、予算総額は852億3471万1000円となる。歳入では、国庫支出金を計上している。

主な概要は、以下のとおりである。

●ひとり親家庭臨時特別給付金給付事業費

子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親家庭の生活実態が依然として厳しい状況にあるため、6月から実施しているひとり親家庭への臨時特別給付金の基本給付の支給対象者に対して、再支給する。

12月11日に国で閣議決定されたひとり親家庭への臨時特別給付金について、市は対象者に可能な限り速やかに支給するため、地方自治法第179条の規定により、12月14日付で本補正予算を専決処分し、議会は12月定例会(開会は28日)で専決処分の報告を受け、承認した*。

※【参考】

専決処分とは…議会を招集する時間的余裕がないと認めるときは、地方公共団体の長は、その議決すべき事件を処分することができる。また、専決処分を行った場合には、次の議会において専決処分内容を報告し承認を求めなければならない。

可決

令和2年度 一般会計補正予算(第11号)

コロナ
対策
関連

補正額は1億850万円の増額で、予算総額は853億4321万1000円となる。

主な概要は、以下のとおりである。

●新型コロナウイルス感染症対策費

市庁舎、公共施設等における感染防止用資材等(マスク、消毒液等)を購入する。

●入所施設等感染防止対策支援事業費

介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)等の新規入所者に対するPCR検査費用を負担した事業者を支援する。

●救急搬送体制強化事業費

車内の陽性患者隔離設備の整備や救急搬送資材を購入する。

●のりあい交通事業緊急支援補助金

利用者が急減した明星町地区における、のりあい交通事業を支援する。

●生活困窮者自立支援事業費

住居確保給付金の支給期間延長に伴う扶助費を追加する。

●障害福祉サービス事業所等利用者支援事業費

活動縮小を余儀なくされた事業所等に、減少した工賃相当額を助成する。

●中小企業等感染防止対策強化支援事業費

冬場の感染防止対策として実施する、換気設備、暖房設備の設置等に要する経費を補助する。

また、歳入では、国庫支出金を計上している。

可決

令和2年度 一般会計補正予算(第12号)

補正額は4億7650万円の増額で、予算総額は859億516万6000円となる。

黄檗公園の再整備に要する経費、小学校・中学校の体育館等非構造部材の耐震改修に要する経費などを計上するとともに繰越明許費を設定している。

歳入では、国庫支出金、府支出金、繰越金及び市債を計上している。

可決

令和2年度 一般会計補正予算(第13号)

コロナ
対策
関連

補正額は8545万5000円の増額で、予算総額は854億2866万6000円となる。

主な概要は、以下のとおりである。

●新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費

個別通知のための接種券の印刷、郵送準備、コールセンター等による相談、予約体制の準備など、新型コロナウイルスワクチンの速やかな接種を可能とするための体制を確保する。

●緊急事態措置協力金負担金

国の緊急事態宣言が発令されたことに伴う、営業時間短縮要請に応じた飲食店等に対する「京都府緊急事態措置協力金」への負担金である。

また、歳入では、国庫支出金と繰入金を計上している。

令和元年度 決算審査報告

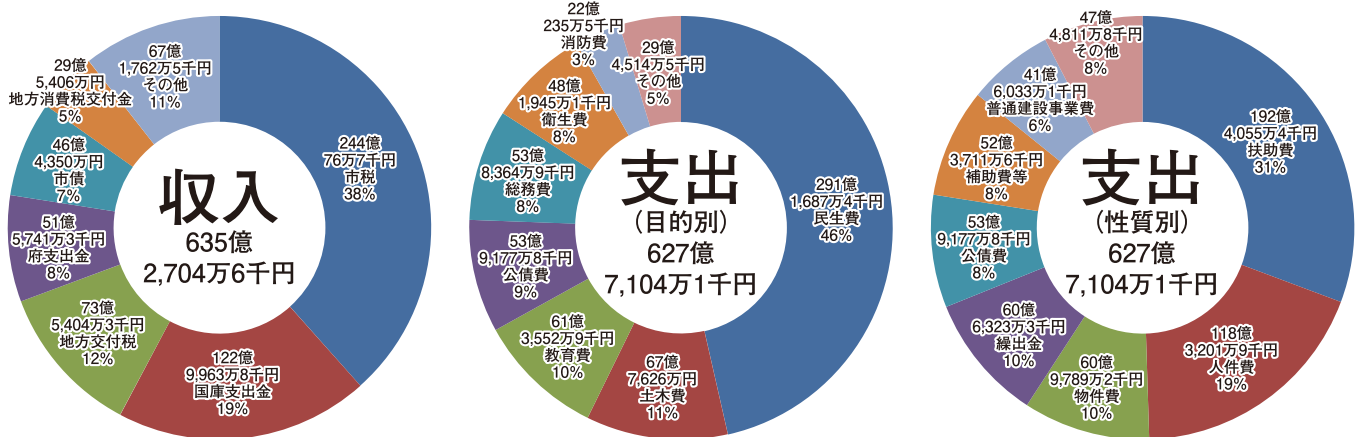
令和元年度宇治市一般会計歳入歳出決算など、各会計決算の7議案は、令和2年9月定例会に提出されました。閉会中に決算特別委員会で審査され、12月定例会で7議案すべてを認定しました。

(3面に議決結果を掲載)



＜実地調査で消防用ドローンの機能を確認＞

一般会計の内訳



※支出のグラフは、目的別、性質別の2種類を掲載しています。

民生費：障害者、高齢者、児童、社会福祉、生活保護などにかかる経費

扶助費：社会保障制度の一環として、各種法令や市独自の制度に基づいて行う福祉サービスの提供に必要な経費

市債：市が歳入不足を補うために発行する債券

公債費：市債の返済に要する経費で、市債の返金とその利子

決算特別委員会における討論

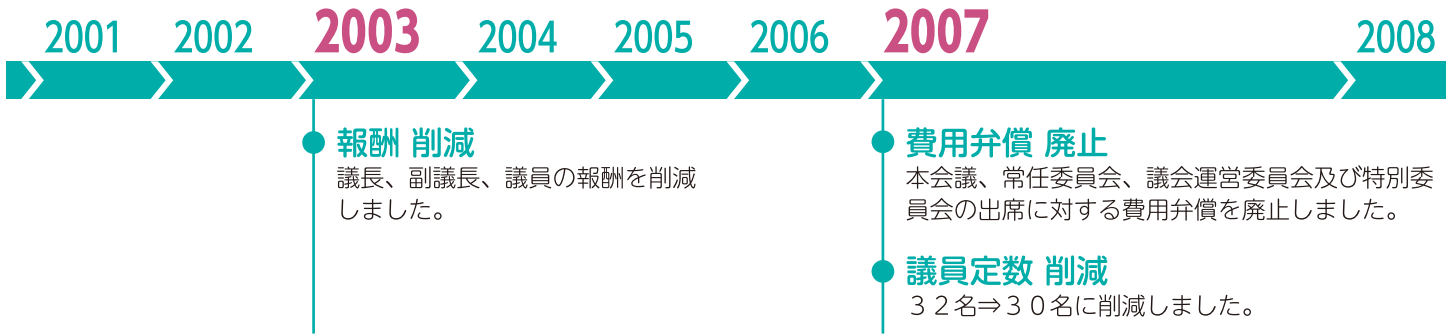
各会派及び無会派委員の総括質疑の後、共産党議員団が反対討論、うじ未来が賛成討論を行いました。

反対 共産党議員団 徳永 未来

保育所待機児童は解消されておらず、中学校給食はいまだ実現の道筋すら見えないなど、市は子育て支援・教育の充実を望む市民の声に背を向けている。また、特別養護老人ホーム不足や市民の費用負担増など高齢者支援・福祉充実からもかけ離れている。まちづくりや災害対策も不十分などの理由で反対する。

賛成 うじ未来 角谷 陽平

厳しい財政状況の中でも、安全・安心なまちづくり施策や産業戦略に基づく取組、切れ目のない総合的な子育て支援に係る施策、障害者や高齢者に向けた施策など、バランスの良い予算配分で施策を実施している。市の発展に資する新たな施策に積極的かつスピード感を持って取り組むことを期待して、賛成する。



2011

● 議員定数 削減

30名⇒28名に削減しました。

● 宇治市議会基本条例制定 議員提出

市民福祉の向上及び市政の発展に寄与するため、平成21年9月議会基本条例制定検討委員会を立ち上げ、市議会の基本理念、議員の責務及び活動原則等を定めた条例の作成に取り組みました。平成22年10月までに計23回の委員会で論議を重ね、素案を完成させ、同年11月には素案に関する市民説明会を開催し、パブリックコメントにより市民の皆様から意見募集を行うなど、検討をさらに進めて、平成23年3月定例会において、議員からの提出による条例を制定しました。



● 中学生議会開催（市制施行60周年記念事業）

宇治市の未来を担う中学生に議会の仕組みや役割を体験してもらうことにより、議会を身近に感じ、市政に対する意識の高揚を図ることを目的に開催しました。市内10中学校（公立9校、私立1校）から各校3名、合計30名の中学生議員を選出し、一般質問を繰り広げました。



● 一般質問の一問一答方式 導入

本会議での一般質問において、議員からの質問とそれに対する答えが分かりやすい形になるよう一問一答方式を取り入れました。

2014

● 地方自治法第100条に基づく調査を実施

議会運営委員会
政務活動費の使途に関する調査を行いました。

2015

● 生中継配信 開始

本会議や常任委員会の様子をインターネットでライブ配信を開始しました。

2016

● 100条委員会の設置

特別委員会
政務活動費の使途に関する調査を行いました。

2018

● 予算・決算特別委員会中継配信 開始

予算・決算特別委員会の様子をインターネットでライブ配信を開始しました。宇治市議会ホームページの議会中継（右の矢印）からご覧いただけます。



～開かれた議会を目指して～

この20年間の議会改革をご紹介します。

2009

政務調査費報告書 公開

報告書の写しを議会図書室に配架し、情報公開を開始しました。



2010

録画中継配信 開始

本会議の様子を録画し、インターネットで配信を開始しました。

2012

市民と議会のつどい開催

市民の皆様に議会の活動を知っていただき、同時に貴重なご意見やご提言をいただくため、これまで計6回「市民と議会のつどい」を開催してきました。毎回、多くの方にご参加いただき、貴重なご意見をいただいております。

今後も、市民の皆様に議会の活動を直接ご報告し、議会や市政について自由に意見交換ができる場を企画し、「宇治市の未来」を考えていきます。



2013

宇治市自転車の安全な利用を促進する条例制定 委員会提出

平成24年3月定例会で採択された「『宇治市自転車安心安全条例（仮称）』制定についての請願」を受け、建設水道常任委員会で、生活や観光においてより安全な自転車の利用を促進することを目的とした条例の素案を作成しました。10月には素案に対するご意見をいただくため公聴会を開催するなど、請願採択後計13回の委員会での論議を経て、12月定例会で初めて宇治市議会委員会からの提出による条例を制定しました。

2017

議会だより リニューアル

議会で審議された内容や議会の活動をより分かりやすくお伝えするため、タブロイド判の議会誌をA4判の冊子にしました。

読みやすい文字の使用や表紙写真の市民募集（151号）など、より多くの方に関心をもっていただけるよう紙面づくりを工夫しています。

政務活動費報告書原本写しホームページ公開

使途を明確にするために報告書の原本写しをホームページで公開を開始しました。



2019

タブレット端末の活用開始

ペーパーレス化や情報伝達の即時化を図るためタブレット端末の活用を開始しました。

2020

Memo

地方議会議員年金制度 廃止 (2011～)

行政改革に伴う議員数や議員報酬の削減などにより、共済給付金に要する積立金の枯渇が見込まれる危機的な状況となったため、地方議会議員年金制度が廃止されています。

うじ未来



まつ みね しげる
松峯 茂 議員

平成27年、議会改革・開かれた議会について年間50回以上議論してきました。これからも議論を尽くすことが大切だと考えます。



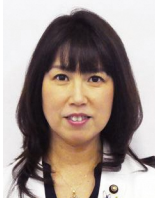
さなだ あつし
真田 敦史 議員

コロナ禍への対策をより強化するとともに、ウィズコロナの時代を見据え、議会の更なる活性化と、より開かれた議会を目指します。



はつ とり ただし
服部 正 議員

これまで宇治市議会で進めてこられた、さまざまな取組の精神を受け継ぎ、住民の福祉の増進に向け全力で取り組んでまいります。



いま がわ みや
今川 美也 議員

皆さんに市議会を身近に感じて頂けるよう、迅速に情報共有を図り、信頼でき、説明責任が果たせる議会を目指してまいります。



おかもと さとみ
岡本 里美 議員

歴史ある宇治市の議会をこれからも市民に開かれた場とし、安全・安心な暮らしを第一に、市民の声を市政に反映させてまいります。



にし がわ とも やす
西川 友康 議員

市民の生活に直結する議会の活動を、全ての方に関心を持って頂けるよう、分かりやすくお伝えするため更に努めてまいります。



かど や よう へい
角谷 陽平 議員

議会の中に、声なき声を汲み上げていく仕組みや、もっと気軽に市民参画ができる仕組みを作れるように取り組んでまいります。

日本共産党宇治市会議員団



みやもと しげお
宮本 繁夫 議員

議会の仕事は市政運営の監視と多様な意見を市政に反映させること（議会基本条例）。そのため議会は市民への説明責任が大事です。



やま さき きょういち
山崎 恭一 議員

宇治市議会は、先輩たちの努力で、全国トップレベルの情報公開を築いてきました。この伝統をさらに発展させることに努めます。



さかもと ゆうこ
坂本 優子 議員

コロナ禍で貧困、ジェンダー平等、気候変動など社会問題も顕在化。市民の声・要望に応え議会の責任・役割を発揮していきます。



わた なべ しゅんぞう
渡辺 俊三 議員

2012年の自転車条例制定の委員会で高校生公述人がいました。次は議員と子どもたちで、子どもの権利条例をつくりたいです。



やまざき たくとく
山崎 匡 議員

市民がつくる市民のための市政へ。市政をチェックし市民の声を届け、条例提案や百条委員会など、議会の役割の発揮に努めます。



おおかわ なお ゆき
大河 直幸 議員

市政を市民目線でチェックし、市民の願いを市政に届ける。議会は常に市民の声を聞き、市民と共にあることが大切と思っています。



とくなが みき
徳永 未来 議員

一人でも多くの市民の皆さんに宇治の政策や議会に興味を持って頂けるよう、分かりやすく、身近に感じられるよう取り組みます。

自民党宇治市会議員団



ほり あきと
堀 明人 議員

議会基本条例や市民と議会のつどいの開催に微力を尽くしてきました。今後も多くの市民意見を活かせるように取り組んでいきます。



なかむら まいこ
中村 麻伊子 議員

多様な市民ニーズに応える為、議会の役割やを行っていることを広く発信し、皆さまの声に耳を傾け、開かれた議会を目指します。



きもと ひろあき
木本 裕章 議員

デジタル社会の到来を踏まえSNSなどの新たな情報発信ツールを活用し、市民の皆さまにとって開かれた議会を目指します。



にしかわ やすし
西川 康史 議員

市民の皆さまの想いを反映できるように、また分かりづらい議会の仕組みや、運営内容を広く公開し、開かれた議会を目指します。



すずき たかよし
鈴木 崇義 議員

タブレットの活用等、ICTを活用した広報や情報共有を進め、議会機能強化を図り、市民参加しやすい議会を目指してまいります。

公明党宇治市会議員団



せきや ともこ
関谷 智子 議員

適切かつ迅速な情報発信と細やかな意見集約に努め、市民の声を施策に反映する市民が主役のまちづくりを推進する議会を目指します。



ながの えつこ
長野 恵津子 議員

今、議会において何が議論の中心なのか、それを広く提示しつつ、「声なき声」をしっかり受け止め寄り添っていく議会でありたい。



とりい すすむ
鳥居 進 議員

議会としてはネットやICTをさらに活用して、全世代、全業種等へ双方向の対話や発信などのやり取りが重要だと思います。



いなよし みちお
稲吉 道夫 議員

新しい時代のICTを活用し、議会の見える化に向けて、市民への情報発信に努めていくことが重要であると考えます。



いけだ てるひこ
池田 輝彦 議員

議員の使命は、市民の幸福のために働くことであると思っています。市民の声を議会に届けられるよう取り組んでまいります。

日本維新・京都宇治党



あきづき しんじ
秋月 新治 議員

コロナ禍、世界で大問題が発生し、情報開示の必要性を感じます。そこで透明性の高い議会を目指し全力で取り組んでいきます。



かながさき ひであき
金ヶ崎 秀明 議員

議会を築いて頂いた皆さまに厚く御礼申し上げます。子どもたちから高齢者の皆さまが未来に希望が膨らむ前向きな議論をします。

無会派



あさい あつひこ
浅井 厚徳 議員

国会と違い、地方議会は市民に活動をお知らせする手段が少ない。市民と議会のつどいや議会だよりの充実に取り組んでいきます。



ささき まゆみ
佐々木 真由美 議員

市民の声に耳を傾け、市政に反映することに力を尽くす議会でありたい。そのためには市民から丸見えで、誰にでも開かれた議会に。

以下8名 敬称略

公平委員会委員の選任に同意

議会は、公平委員会委員の選任に同意しました。

●公平委員会委員

たけのうち そうたろう
竹ノ内 壯太郎 (新任)

自治功労者の推薦を承認

議会は、次の7名の自治功労者の推薦を承認しました。

●前農業委員会委員

たかだ よしかず
高田 悦和

●前民生委員・児童委員

おおく ぼ さだえ
大久保 定枝

●前民生委員・児童委員

おおにし まさこ
大西 雅子

●民生委員・児童委員

よしだ いさむ
吉田 勇

●前民生委員・児童委員

なさ ひろみ
奈佐 廣海

●前民生委員・児童委員

ひきた こ
足田 みつ子

●消防団副団長

うえむら かずゆき
植村 和幸

傍聴に関するご協力のお願い

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本会議・委員会等を傍聴される方は、以下の項目について、ご理解・ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、緊急事態宣言発令中は、議会の傍聴はお控えいただき、ライブ中継・録画配信(13ページ参考)をご活用くださいますようお願いいたします。

- 入場時に手指の消毒を行ってください。
 - 室内ではマスクの着用など咳エチケットの励行に努めてください。
 - 37.5度以上の熱、強いだるさ、息苦しさがある場合は、傍聴をご遠慮願います。
- ※傍聴当日に体温を未計測の方は議会事務局(議会棟2階)に非接触型の検温器がございますので、ご利用ください。



※感染拡大状況により、傍聴の方への対応は変更する場合がございますので、ご了承願います。詳しくは、ホームページをご覧ください。

問 議会事務局(電話:0774-20-8747)

次回定例会のお知らせ 2月22日~3月30日 開催予定

令和3年 2月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15 議会運営委員会	16	17	18	19 議会運営委員会 議案提出締切	20
21	22 本会議 (開会・提案説明等)	23	24	25 議会運営委員会 本会議 予算特別委員会	26	27
28						

令和3年 3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
		本会議(一般質問)			予備日	
7	8	9	10	11	12 予算特別委員会	13
		常任委員会				
14	15 議会運営委員会 本会議	16	17	18	19	20
		予算特別委員会				
21	22 予算特別委員会	23 予算特別委員会 (実地調査)	24	25 予算特別委員会 (総括質疑)	26	27
28	29 議会運営委員会	30 本会議 (閉会)	31			

● この宇治市議会だよりは、古紙を配合した再生紙を使用しています — 限りある資源を大切に — ●